

審議会委員意見への対応方針【基本構想】.

ページ番号	項目	審議会にいただいた意見	事務局の考え方	修正(案)	変更前
3	策定の趣旨	3ページの策定の趣旨の中で、SDGsについて記述することで、SDGsの考え方を整理するべきではないか。	策定の趣旨に追記します。	別紙参照	
7	基本目標(目指すべき将来像)	文章の整理(事務局)	文言整理します。	4. 基本目標(目指すべき将来像) 「ともにみらいにつなぐ やさしさとこいの西東京」という基本理念をかなえるために、めざすまちの姿として、6つの基本目標(目指すべき将来像)を掲げます。また、予測を超えた社会情勢の変化等に対しても柔軟な対応を図るための視点として、「基本目標実現のための体制づくり」を示します。	4. 基本目標(目指すべき将来像) 基本理念で示した『ともにみらいにつなぐ やさしさとこいの西東京』というわたしたちの望みを実現するために、分野ごとにめざすべきまちの姿として6つの基本目標を定めます。 また、6つの基本目標達成のための重要な視点を示します。
7	基本目標(目指すべき将来像)	7ページに「新たな課題や変化に柔軟に対応することが必要です」とあるが、「必要です」では課題出しとなり、実行するイメージが薄い。表現を「対応します」としたかどうか。	<6つの目標達成のための重要な視点>について、タイトルを含めて記述全体を修正いたします。	<基本目標実現のための体制づくり> 社会情勢が変化し、行政サービスが多様化する中においては、 <u>分野ごとに掲げた基本目標を実現するための仕組みづくりが重要となります。</u> 新たな課題や変化に柔軟に対応するために、 <u>庁内各部署が分野を超えて組織横断的な連携を図るとともに、地域の力を活かし、行政・市民・関係団体、事業者等との弾力的な協働により、課題を解決していきます。</u>	<6つの目標達成のための重要な視点> 社会情勢が大きく変化し、行政サービスが多様化するなかで、6つの基本目標の実現するためには、庁内の各部署が分野を超えて横断的に連携し、新たな課題や変化に柔軟に対応することが必要です。また、行政・市民・関係団体、事業者等がその状況に応じて弾力的に協働し、地域の力を活かしながら、社会課題の解決に向けた取組を進めていきます。
8	基本目標3	若者だけをピックアップして記載すると、何らかの意図が生まれる。「多様性」や「老若男女」等と一緒に入れてはどうか。	※「子ども・若者」の記述については、引き続き、調整します。	■基本目標3(健康・福祉)笑顔で心豊かに暮らせるまち 年齢や障害の有無等にかかわらず、誰もが個性と多様性を尊重され、住み慣れた地域で自分らしく健康で元気に歳を重ねられるまちをめざします。 そこでは、人と人がゆるやかにつながり、「支え手」「受け手」という関係を超えて互いに支え合っています。 また、高齢者、障害者、子ども・若者等といった区別なく、誰もがその人の状況にあった支援を受けられ、安心して暮らすことができます。さらに、個人だけでなく地域全体で健康づくりに取り組み、誰もがいつまでも心身ともに充実して過ごすことができます。	■基本目標3(健康・福祉)笑顔で心豊かに暮らせるまち 年齢や障害の有無等にかかわらず、誰もが個性と多様性を尊重され、住み慣れた地域で自分らしく健康で元気に歳を重ねられるまちをめざします。 そこでは、人と人がゆるやかにつながり、「支え手」「受け手」という関係を超えて互いに支え合っています。 また、高齢者、障害者、子ども・若者等といった区別なく、誰もがその人の状況にあった支援を受けられ、安心して暮らすことができます。さらに、個人だけでなく地域全体で健康づくりに取り組み、誰もがいつまでも心身ともに充実して過ごすことができます。
	基本目標3	「若者」だけが突然出てくるのは良くない。誰も取り残さない、マイノリティを含めた多様な人々の参画が必要であるという視点の文言を入れていただきたい。			■基本目標3(健康・福祉)笑顔で心豊かに暮らせるまち 年齢や障害の有無等にかかわらず、誰もが個性と多様性を尊重され、住み慣れた地域で自分らしく健康で元気に歳を重ねられるまちをめざします。 そこでは、人と人がゆるやかにつながり、「支え手」「受け手」という関係を超えて互いに支え合っています。 また、高齢者、障害者、子ども・若者等といった区別なく、誰もがその人の状況にあった支援を受けられ、安心して暮らすことができます。さらに、個人だけでなく地域全体で健康づくりに取り組み、誰もがいつまでも心身ともに充実して過ごすことができます。
8・9	基本目標1、3	基本目標の1と3が、まちづくりという点で若干重複している。支援を受けるだけでなく、支え手でもあるという視点が地域共生社会にとって大事であるため、そこを強調してほしい。	基本目標1の協働については、まちづくりに共通の考え方でもあるため、他の目標にも協働によるまちづくりの要素が含まれています。 「支え手」と「受け手」部分は、整理します。加えて、人のつながりといった部分が重複しているため、基本目標3を修正します。	■基本目標3(健康・福祉)笑顔で心豊かに暮らせるまち 年齢や障害の有無等にかかわらず、誰もが個性と多様性が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく健康で元気に歳を重ねられるまちをめざします。そこでは、 <u>必要な時に、必要な支援を受けることができ、支援の「受け手」も地域の「支え手」として、もともとまちをつくる意識が醸成されています。</u> また、 <u>高齢者、障害者、子ども・若者</u> といった区別なく、誰もがその人の状況にあった支援を受けられ、安心して暮らすことができます。さらに、個人だけでなく地域全体で健康づくりに取り組み、誰もがいつまでも心身ともに充実して過ごすことができます。	■基本目標1(協働・行財政)みんなでつくるまち 市民が互いに認め合いながら、つながりを大切にし、まちづくりの主役となれるまちをめざします。そこでは、一人ひとりが人や地域とつながり、それぞれの希望に応じた居場所や役割を見つけ、自分らしく活躍することができます。また、価値観や生き方などの多様性を受け入れ、他者を尊重する社会のなかで、一人ひとりの思いが尊重されるようになります。行政は、市民や市民活動団体、事業者等と協働し、変化しつつある市民ニーズや地域課題に対応するとともに、よりよい行政サービスを提供し、持続可能で市民満足度の高い自治体運営を行っています。 ■基本目標3(健康・福祉)笑顔で心豊かに暮らせるまち 年齢や障害の有無等にかかわらず、誰もが個性と多様性を尊重され、住み慣れた地域で自分らしく健康で元気に歳を重ねられるまちをめざします。そこでは、人と人がゆるやかにつながり、「支え手」「受け手」という関係を超えて互いに支え合っています。また、高齢者、障害者、子ども・若者等といった区別なく、誰もがその人の状況にあった支援を受けられ、安心して暮らすことができます。さらに、個人だけでなく地域全体で健康づくりに取り組み、誰もがいつまでも心身ともに充実して過ごすことができます。

8	基本目標 2	学校というテーマで、2つの施策を策定しています。一方で、目標2では学校について比重を置いて取り上げているようには読み取れません。目標2で学校施策をつなげる表現を加えてはいかがでしょうか。	学校教育に関する記述を追記します。	<p>■ 基本目標2（子ども・教育）子どもが健やかに育つまち</p> <p>子どもたちが、自分らしく心身ともに健康に育つことができ、<u>一人ひとりが輝き、個性を大切に</u>する教育環境が充実し、<u>社会の変化に応じた生きる力を身につけることができる</u>まちをめざします。</p> <p>ここでは、さまざまな課題を抱える子どもや子育て家庭が、地域や社会に支えられ、子どもがのびのびと成長し、未来に向かって夢を描くことができます。</p> <p>また、子どもの発達段階やライフステージに応じた妊娠期からの切れ目のない支援により、安心して子どもを産み育てることができ、次世代を担う子どもたちが個性を伸ばしながら<u>学び</u>、豊かな未来を育むことができます。</p>	<p>■ 基本目標2（子ども・教育）子どもが健やかに育つまち</p> <p>子どもたちが、自分らしく心身ともに健康に育つことができ、<u>社会の変化に応じた生きる力を身につけることができる</u>とともに、<u>全ての子育て世帯がいそいそと暮らせる</u>まちをめざします。</p> <p>ここでは、さまざまな課題を抱える子どもや子育て家庭が、地域や社会に見守り支えられ、子どもがのびのびと成長し、未来に向かって夢を描くことができます。</p> <p>また、子どもの発達段階やライフステージに応じた妊娠期からの切れ目のない支援により、安心して子どもを産み育てることができ、次世代を担う子どもたちが個性を伸ばしながら、<u>豊かな未来を育む</u>ことができます。</p>
9	基本目標 5	基本目標の5番のみ「誰もが快適に過ごしています」とあり、ほかと書き方が少し異なっているため、「過ごせます」とした後に、「このようなことをしている」と続けてはどうか。	「過ごすことができます」に修正します。	<p>■基本目標5（都市基盤・安全）安全・安心で快適に暮らせるまち</p> <p>災害リスクや犯罪などに適切に備え、日々の暮らしのなかでの安全が確保され、誰もが安心して暮らし続けられるまちをめざします。ここでは、都市と自然環境とのバランスのとれたまちづくりや、駅などの拠点をつなぐ利便性の高い道路・交通網の整備が進められ、誰もが快適に<u>過ごす</u>ことができます。また、一人ひとりが防災・防犯への意識を高め、地域のなかでつながり、支え合いながら、安心して住み続けることができます。</p>	<p>■基本目標5（都市基盤・安全）安全・安心で快適に暮らせるまち</p> <p>災害リスクや犯罪などに適切に備え、日々の暮らしのなかでの安全が確保され、誰もが安心して暮らし続けられるまちをめざします。</p> <p>ここでは、都市と自然環境とのバランスのとれたまちづくりや、駅などの拠点をつなぐ利便性の高い道路・交通網の整備が進められ、誰もが快適に過ごしています。</p> <p>また、一人ひとりが防災・防犯への意識を高め、地域のなかでつながり、支え合いながら、安心して住み続けることができます。</p>
14	基本施策1-2	現状と課題、取り組みに平和について書かれていますが、基本施策案1-2にも平和についての記述があったほうが良いのではないかと。	平和についての記述を追記します。	<p>わたしたちのまわりには、さまざまな人が暮らし、働き、学び、支え合って生きています。一人ひとりがかけがえのない存在であり、人種、国籍、性別、年齢、信条、社会的身分などによって差別されることなく、<u>平等な存在でなければなりません</u>。</p> <p>そのため、一人ひとりの人権が尊重され、互いに個性を認め合い、誰もが自分の能力を発揮できる社会の実現に向けた取組を進めるとともに、<u>外国人住民も地域コミュニティの一員として、ともに地域で暮らすことができる多文化共生社会の実現を目指し</u>ます。また、恒久平和をめざし、若者と一緒を考える機会を設けるなど、<u>平和意識の向上を図ります</u>。</p>	<p>基本施策1-2 誰も取り残さない、多様性のある社会を実現するために</p> <p>わたしたちのまわりには、さまざまな人が暮らし、働き、学び、支え合って生きています。一人ひとりがかけがえのない存在であり、人種、国籍、性別、年齢、信条、社会的身分などによって差別されることなく、<u>平等な存在でなければなりません</u>。</p> <p>そのため、一人ひとりの人権が尊重され、互いに個性を認め合い、誰もが自分の能力を発揮できるような社会の実現に向けた取組を進めます。また、外国人住民も地域コミュニティの一員として、<u>文化的ちがいを認め合い、ともに地域で暮らす</u>ことができる多文化共生社会の実現をめざします。</p>
17	基本施策4-1	基本施策4-1には「自然を感じ」とあるが、「みどり」という言葉が基本目標や基本施策から見えなくていいのか、担当課に聞きたい。	文言を修正します。 自然→みどり	基本施策4-1 「身近に <u>みどり</u> を感じ、触れ合えるために」	基本施策4-1 身近に自然を感じ、触れ合えるために
18	基本施策5-2	グリーンインフラは防災・減災につながるが、今の案では触れられていないため、基本施策5-2など、どこかに位置づけたい。	※引き続き、関係部署と調整します。	今後調整	
19	基本施策6-2	21ページの6-2の施策が1つしかないのがさみしく感じる。「まちの魅力の発信力」が6-2-2にあっても良いのではないかと。	6-2-1については、「魅力の創造」と「発信」とで分割できるかどうか、ぶら下がる事業等等を検討する中で整理したいと考えます。	今後調整	